

## 第2回つるおか SDGs 推進パートナー交流会（概要）

- 日 時 令和4年11月1日(火) 午後5時00分から午後6時30分まで
- 会 場 グランド エル・サン
- 参加者 つるおか SDGs 推進パートナー 21 団体 別紙のとおり  
野村総合研究所（開催協力）  
鶴岡市政策企画課（事務局）
- 概要 AからGグループに分かれ、下記テーマから1つ選択し、をグループディスカッションを行い、意見集約後、グループ毎発表を行った。  
選択テーマ
- ・若者たちが住みたくなる鶴岡市にするには（7グループ）
  - ・地域を担う人づくり（0グループ）
  - ・安心して暮らせる街づくり（0グループ）

○主な意見等 テーマ：全グループ 「若者たちが住みたくなる鶴岡市にするには」

### 【Aグループ】

#### \*働く環境

若い人が働きたくなるような会社が必要。

給与水準や正規・非正規採用などの条件を整える。

地元企業も、サイエンスパークの企業も、若い人が働く意義を感じる活動に積極的に取り組み、働く環境を整備する。

#### \*子育て環境

補助金などの支援はたくさんある。

特徴のある子育て支援で、メッセージを発信するような施策がほしい。

#### \*情報発信

鶴岡の魅力をもっと発信する。

チャレンジできる・応援してもらえる環境・風土をつくる。

インスタグラマーや you tuber、メディアを利用して。

発信によって来訪した市外の人が、地域内を巡り現地ならではの体験することで、親密度が高い関係人口となってもらおう。

#### \*生活しやすいコミュニティづくり

外から来た人がいかに満足し生活しやすい環境にするか。

来た人が入りやすいコミュニティづくりを支援する。

## 【Bグループ】

「若者」30才以下ぐらいの学生～社会人を想定。

### \* 鶴岡市の魅力の発信と再確認

鶴岡市の魅力（食文化や自然）を発信する。

ワークショップや意見を出し合う場をつくり、再確認していく。

### \* 駅前・交通

駅前の充実や交通の整備により、交通手段を持っていない若者が来やすくなる。

### \* 働き方

住み続けたいと思える仕事や働き方を考える

### \* 子育て

子育てしやすい環境は、長期的にみて住み続けることにつながる。

### \* コミュニティづくり

コミュニティにおいて、一緒に何かできる、あるいは情報交換できる場所が必要。

特に外部から来た人にとってはコミュニティへの帰属が安心感につながる。

## 【Cグループ】

### \* 進路

地元進学先が増えるといい。

地元企業を盛り上げる取組みが大事。社員のモチベーションを上げて会社の魅力を高めるような取組みが出来ないか。

### \* 地元の魅力

住み続けているだけでなく、外からではないとわからない魅力がある。

一度外に出て、鶴岡の魅力を再発見して、戻ってきたいと思える鶴岡だといい。

### \* 若者が働ける環境・職場の確保

### \* 余暇を楽しめる施設・環境

### \* 市内を自由に回遊できる交通アクセス性の向上が必要

### \* 鶴岡に来ないとわからない魅力づくり

「おいしい」は来ないとわからない

### \* 起業しやすい環境

### \* デジタル技術を活かし、首都圏・世界ともつながる。

市外に出ていった若者もデジタルで鶴岡市と関り続けられるようなしくみづくり。

## 【Dグループ】

### \* 情報発信

たくさんある鶴岡の魅力をインターネット等をつかって情報発信し、鶴岡に呼び寄せる。

### \* 交通手段

交通手段を持っていない高校生や高齢者のための交通整備が重要。

**\*人とのつながり・コミュニティ**

外から来た人も、住み続ける人も、自分が困ったときに、周りに助けてくれる人がいることが安心につながる。

**\*人が集まれる場づくり**

現在の限られた商業施設だけでなく、人が集まれる場があって欲しい。

**\*仕事づくり**

若い人がチャレンジしたくなるような仕事が少ないのであれば、今住んでいる人で創っていけばいい。

**\*祭り・イベント**

大人から言われるだけでなく、若い人たちの新しい意見を取り入れて、鶴岡独自の新しいイベント・祭りをつくることで、商業施設だけでなく、楽しく過ごせる地域になる。

## 【E グループ】

**\*学生・教育**

子供たちがまちづくりに関わる機会を設ける。子供から意見をもらう場を設け、関心を持ってもらう。

インターンシップの充実や、学校で経営学の授業を導入するなど、学生と地元企業をつながりをつくり、学生の意識を高める。

学生の時から地元を知る環境で育った学生は、郷土愛をもつことにつながり、地元就職や、県外からのUターン就職につながる、

**\*雇用**

多様な職業を選べる環境を整備する必要がある。行政と民間がタッグを組み、企業誘致する、あるいは地元の人が創業する機運を高める取組みを行政が行う。

**\*子育て**

支援制度の充実。

家族全員で安心して暮らせるような環境の充実。交流の場、イベント、食、教育、就業。

## 【F グループ】

若者の人口流出が課題。Uターン・Iターンなどで選ばれる街にする。

**\*働く環境**

就職先についてさらに情報発信をした方がよい。

地元企業と若者がつながる場所が必要。

説明だけでなく、職業を体験できるイベントを、小学生など早い段階からできるとよいし、企業単位から、市全体での開催へ広がるとよい。

リモートワークなどの環境整備も急務。

\*生活環境

子育て期間は長いので、継続した子育て支援が大切。

庄内に住む若い人たちが必要とする車や住居への支援があるとよい。

\*イベント

庄内の若者はシャイなので、集まるきっかけがないと盛り上がらない。

若者が安心して集まれる機会・祭が増えるとよい。

\*情報発信

インフルエンサーの影響力は強い。有名人や地元のスポーツチームなどがあると、注目度が高まる。

\*意識改革

冬の気候から、気持ちも閉じこもりがちになるが、冬に魅力的な場所もあるので、雪も活かしていければよい。

**【Gグループ】**

\*イノベーション、チャンス

鶴岡に来ると、自分のチャレンジしたいことができる環境が必要。

\*多様性

LGBTなども認めているなど、多様性のある地域になる。

\*働く場

鶴岡にはたくさんの働く場があるが、知らない人・学生が多いので、知ってもらうことが必要。

\*情報発信

メタバースなどを活用する。

\*修学旅行の受け入れ

鶴岡ならではの自然や食を体験できる環境を整備する。